

## 利根川水系利根川・江戸川河川整備計画（原案）に対する意見

まず、「有識者会議」のあり方、進め方に大変問題があると思います。9月25日に再開されましたが、1～2週間に1回開催し、一回の時間が2時間という強行スケジュールです。こんな拙速なやり方でいいのでしょうか。しかも途中で、予定していた会議を9回も中止しました。委員の方々は、やりくりして何とか確保した日程を突然キャンセルされ、さぞ大変だったことと思います。

私は、「有識者会議」を4回傍聴しました。この会議にダム懐疑派の委員が入り、少しはまともな議論が展開されるのではないかと期待しました。実際、数人の委員から、もっともな疑問、意見、提案が出されましたが、それに対して、きちんと取り上げ、十分に議論をするということがなされていません。本来、座長が、出された問題を整理し、議論を促すべきですが、事務局任せで、役割を果たしていません。それどころか、「この会議は、学識経験を有する委員の皆様方からご意見をお聞きする場です。何らかの決定を行っていただく場ではありません」という事務局のことは一緒にあって繰り返すばかりです。これでは、会議をやる意味がなく、時間と労力と税金の無駄遣いです。国の会議というのは、これが当たり前なのでしょうか？ 国交省の職員の方々もあの場に大勢待機していますが、このような会議の進め方はおかしいと思っている職員もいらっしゃるのではないのでしょうか。

また、出された問題の検討もされず、中途半端な状態のままにもかかわらず、「整備計画原案」が突然出されたことに驚きましたし、納得できません。そして、この「原案」には、せっかく出された意見が全く反映されていません。

アリバイ作りの会議はやめ、「有識者会議」のあり方を変えて民主的な運営をし、ダム建設ありきではなく、実現可能な対策について充分時間をかけ議論し、整備計画をつくり直すよう求めます。その際、本当に住民の安全を考え、また後世に悔いを残さないようにと真剣に考え、参加している委員の意見に耳を傾けてください。

今までに、いろいろな意見が出されました。例えば、

「会議は2時間ではなく、4時間ぐらい使って議論したい。災害対策はどうあるべきか議論したい」「河川工学に限定し、治水安全度という特定の数字にこだわることのリスクがあるのではないか。真の安全性を確保するには、多様な対策が必要。もっと柔軟にいろいろな英知を集めて議論すべき」「目標流量を設定してから計画策定することに反対である。治水のあり方を根本から考えるべき」「利根川本川だけではなく、水系全体を含めて議論すべき」「貯留関数法も総合確立法も問題がある。60年の観測データがあるのだからその流量を基に目標流

量を出せばよい。森林の保水力を考慮すべき」「2040年にはメンテナンスだけで新規事業はできない。時間と財政に制限がある中で、30年でできることが本当にダムなのか議論すべき」「資料として出されている洪水氾濫図は、溢れていない所を溢れているとしている。非科学的な資料であり撤回せよ」等々です。素人にもわかりやすい、説得力のある意見です。どうか無視しないでください。

次に、ヤマトシジミとウナギについて述べます。原案を見ますと、環境については、「河川環境の整備と保全に関する現状と課題」「同目標」「同事項」と3か所ありますが、ヤマトシジミが生息しているという記述のみで、ヤマトシジミとウナギが激減している事実とその原因についての記述がありません。

先日、研究者のお話をうかがいました。ウナギはとうとう絶滅危惧種になってしまいましたが、利根川水系では、最盛期には約1000tだった漁獲量が2010年にはわずか16トンと最盛期の0.5%に減少したとのことです。原因は、ダム建設と考えられ、利根川水系のダム累積数と漁獲量との間には高い相関関係が認められ、漁獲量減少率はダム1基につき15%だそうです。決して乱獲が原因ではありません。

ヤマトシジミはかつて全国一の生産量を誇り、1970年には利根川水系の漁獲量は、霞ヶ浦を合わせて41500t（全国の74%）だったが、2010年はわずか5tしか獲れなかったそうです。ヤマトシジミの減衰傾向はウナギと一致しています。シジミは河口堰やダムのない所でも減少していることから、河川湖沼開発事業全体が、ウナギをはじめとする水域での生産に影響を及ぼしてきたことになるとのことです。以上申し上げたことも、きちんと認識し、事実として原案に記述すべきと考えます。また、地域の現状をよく知っている研究者や市民団体の方々と一緒に対策を考え、計画に盛り込むべきです。

講師の方は「河川湖沼の開発は、生物多様性を破壊しつくした。治水効果のメリットと生物多様性損傷等のデメリットを評価したうえで、河川整備計画が策定されなければならない。事前・事後の生物多様性影響評価が必要だ」と発言されました。是非ともそのようにしていただきたいと思います。

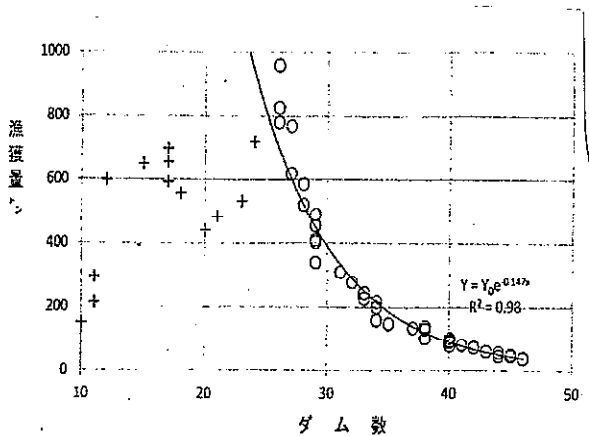


図2 利根川におけるダム数と漁獲量

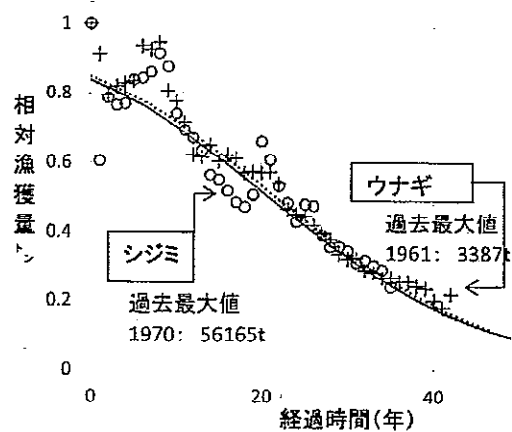


図6 ウナギおよびシジミ漁獲量減衰曲線